

## 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類— II

工藤 孝浩・中村 良成・清水 詢道

Takahiro Kudo, Ryosei Nakamura, Takamichi Shimizu : New  
Records of Fishes from the Coasts of Yokohama, Kawasaki and  
Nakanose Areas, Tokyo Bay- II

### はじめに

工藤・中村 (1994) (以下、『前報』と称する) は、東京湾内湾部の魚類相解明の基礎資料として、横浜市内に水揚げされる小型機船底びき網漁船の操業区域である横浜市、川崎市の沿岸部から中の瀬を含む東京湾中央部にいたる海域から報告された魚類の記録を整理した上で、過去に文献上記録されていない15種を報告した。その後、横浜市金沢区野島海岸からニセカンランハギ *Acanthurus dussumieri* とヤマトカマス *Sphyraena japonica* が新たに記録され (工藤, 1995), 本報の調査対象海域から 253 種の魚類の記録が得られた。

本報は、前報の調査期間終了後の1993年12月以降に新たに記録されたもの23種と前報調査期間中に採集されていたが未報告となっていたもの2種を報告するとともに、前報では未同定であったもの1種と、目視記録であったもの1種の標本が得られたので、それらも併せて報告する。

### 調査方法

1993年10月から1995年9月の間に、次のような方法により魚類を採集した。採集された標本は横須賀市自然博物館魚類標本 (YCM-P) として登録保管した。

#### 1 試験底びき網調査

横浜市金沢区地先に2ヶ所、中の瀬に1ヶ所、中の瀬の東側に2ヶ所の計5ヶ所に定線を設置し、長さ3mのビームを有する二重袋構造の底びき網を使用して、平均2ノットの船速で20分間づつ曳網した。袋網の目合 (2脚1節長) は約18.4mmである。今回報告に用いた標本は、全て実験室まで活かして持ち帰り、生鮮時のカラー写真撮影後に10%ホルマリン水溶液で固定した。調査頻度は毎月1回であった。

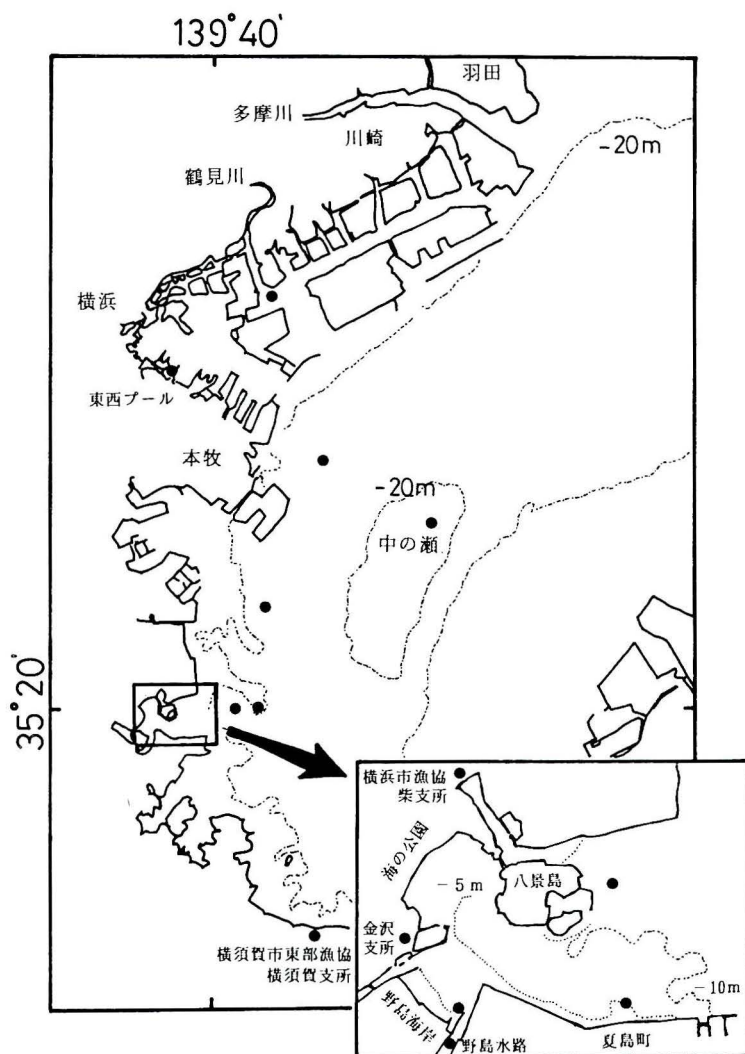


図1 調査地点

#### 2 潜水調査

調査地点は、横浜市金沢区の海の公園人工海浜から野島海岸を経て横須賀市夏島町に至り、八景島周辺を含む金沢湾に7ヶ所設けた。スキューバダイビングまたはスキューバダイビングによる目視観察を行い、観察された魚類の発育段階と個体数を記録し、水中写真の撮影も併せて行った。資料的

価値が高いものについては手網によって採集し、生鮮時のカラー写真撮影後に10%ホルマリン水溶液で固定した。調査員数は2名以上で、調査時間は1地点につき20~90分とした。調査頻度は毎月1回以上であった。

### 3 水揚げ調査

横浜市金沢区の横浜市漁業協同組合柴支所と金沢支所および横須賀市平成町の横須賀市東部漁業協同組合横須賀支所の出荷場において、小型機船底びき網漁船を主体とする水揚げ物のうち、全ての魚類の種類と個体数を記録した。資料的価値の高いものについては譲り受け、生鮮時のカラー写真撮影後に10%ホルマリン水溶液で固定した。ほぼ周年にわたって毎週1回実施した。

### 調査結果

著者らの調査により、横浜・川崎市および中の瀬海域から新たに25種の魚類が記録された。以下にそれら魚類を目録として記述する。本報告の標本に関する記述は、種類ごとに標本番号、丸括弧内に標本長(SL:標準体長またはTL:全長)、採集日、採集地、採集方法(水揚げ物の場合は丸括弧内に漁場を併記)、採集者の順に記した。科の配列と各種の学名および和名は、中坊編(1993)に従った。分布域の記載については国内に限り、特に近隣海域での記録を示した。分布域の記載で引用文献のことわりがないものは中坊編(1993)によった。

#### Triakididae ドチザメ科

##### *Musterus griseus* シロザメ (図2-A)

YCM-P 35274 (656.0mm TL), Apr. 27, 1995, 中の瀬南西部水深20 m, 小型機船底びき網, 採集者: 山口。

本種は北海道以南に分布する沿岸性のサメで、三崎魚市場に稀に水揚げされる(山田・工藤, 1992)。東京湾においても時折漁獲されるが、近縁のホシザメ *M. manazo* と混同されて、これまでの当該調査海域内の報告から漏れていたものと思われる。

#### Ophichthidae ウミヘビ科

##### *Ophisurus macrorhynchus* ダイナンウミヘビ (図2-B)

YCM-P 35275 (1,348.0mm TL), Aug. 6, 1994, 柴漁港, アナゴ筒(中の瀬), 採集者: 工藤。

マアナゴを目的とした操業でアミウツボとともに

に混獲された。前報では、目視観察によって金沢区野島海岸から未成魚の記録を報告したが、今回、大型成魚の標本が得られたので改めて報告した。

#### Nemichthyidae シギウナギ科

##### *Nemichthys scolopaceus* シギウナギ (図2-C)

YCM-P 35271 (749.0mm TL), Jun. 8, 1995, 小型機船底びき網(漁場不明), 採集者: 中村。

本種は、世界の温帯および熱帯域の水深300~2,000 mに分布する深海性の魚類として知られている。しかし、夜間には表層近くに浮上するようで、1991年に東京湾口久里浜沖で夜間行われた稚魚ネット傾斜曳きで採集されたことがある。

標本個体は昼間操業の底びき網で漁獲されたもので、漁場は不明であるが、当該漁業の操業区域は最深部でも60 mであり、内湾浅海域からの記録として興味深い。

#### Cyprinidae コイ科

##### *Tribolodon brandti* マルタ (図2-D)

YCM-P 35269 (421.0mm SL), May. 18, 1995, 横須賀支所出荷場, 刺網(京浜運河の鶴見川河口部), 採集者: 中村。

本種は、東京都・富山県以北の本州と北海道に分布し、河川の感潮域や内湾に生活するが、4~6月の産卵期には河川中流域まで遡上する。

標本は大型の成魚で、体側下部に1本の朱色縦帯が走る婚姻色を現していたが生殖巣は退行しており、産卵直後の個体と考えられた。漁獲地点から推定すると、鶴見川に遡上し産卵した個体である可能性が高い。鶴見川には1950年代にはおびただしい数の産卵群が遡上していたが(岸 由二氏私信)、近年その姿が絶えて久しい。隣の多摩川では、1991年から川崎河川漁業協同組合が川崎市からの委託を受けて茨城県産種苗を毎年1,000尾規模で放流しており(神奈川県農政部水産課資料)、産卵群の遡上も確認されている。この放流群が東京湾に定着し、個体群を増大させている可能性がある。

#### Ophidiidae アシロ科

##### *Neobythites sivicolus* シオイタチウオ (図2-E)

YCM-P 35287 (197.0mm SL), May. 1, 1988, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網(中の瀬), 採集者: 作中。

本種は、三崎以南の太平洋岸の水深約200 mに

分布するとされており、相模湾の深場でヒラメなどを対象に操業する刺網にしばしば混獲されるが、東京湾では稀。

著者の一人工藤は、横須賀市走水に水揚げされた東京湾産の標本（Y C M-P 17196）を得ている。

#### Exocoetidae トビウオ科

##### *Hirundichthys speculiger* ニノジトビウオ

Y C M-P 27655 (65.6mm SL), Sep. 1, 1993, 中区東西プール, 手網, 採集者: 工藤.

前報で同定作業中と報告したトビウオ科の1種は、築地市場おさかな普及センター資料館の阿部宗明博士に標本を鑑定していただいたところ、本種と判明した。本種の稚魚は三浦半島南西部沿岸で採集されたことがある(工藤・岡部, 1991)。

#### Zeidae マトウダイ科

##### *Zenopsis nebulosa* カガミダイ (図2-F)

Y C M-P 35276 (155.9mm SL), Jul. 31, 1995, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網(漁場不明), 採集者: 中村.

標本個体は未成魚で、体側に数個の黒斑が現れている。頭部背面が湾入することから本種に同定された。

福島県以南の水深200~800mに分布するとされているが、幼魚が駿河湾大瀬崎の表層で撮影された例もあり(御宿・瀬能, 1994), 未成魚は比較的浅い海域にも現れるようである。

##### *Zeus faber* マトウダイ

Y C M-P 35264 (61.6mm SL), Jul. 19, 1994, 金沢湾沖, 試験底びき網, 採集者: 清水(図3-A); Y C M-P 35267 (60.8mm SL), Jun. 23, 1995, 中区本牧沖, 小型機船底びき網, 採集者: 工藤.

本州南部以南の水深100~200mに分布するとされている。近縁のカガミダイ(前出)に比較して生息水深が浅いようで、ダイバーの観察例も格段に多い。しかし、東京湾で小型機船底びき網を操業する複数の漁業者の話では、網に掛かる数はカガミダイより少ないという。

#### Syngnathidae ヨウジウオ科

##### *Trachyrhamphus serratus* ヒフキヨウジ(図3-B)

Y C M-P 35261 (308.0mm SL), Oct. 7, 1994,

柴支所出荷場, 小型機船底びき網(漁場不明), 採集者: 工藤.

東京湾では、湾口部の横須賀市観音崎周辺の水深15m以深の砂泥底で比較的普通に観察されている。水揚げされる機会は極めて少ないが、東京湾のトロールグランドとなっている沖合深場にも広く分布しているようである。

##### *Hippocampus kuda* オオウミウマ(図3-C)

Y C M-P 35263 (63.5mm SL), May. 17, 1994, 中の瀬, 試験底びき網, 採集者: 清水.

南日本の沿岸浅所や河川, 汽水域に分布する。神奈川県沿岸域では稀。

##### *Hippocampus japonicus* サンゴタツ(図3-D)

Y C M-P 35262 (63.5mm SL), May. 17, 1994, 中の瀬, 試験底びき網, 採集者: 清水.

函館以南本州西部の内湾のアマモ場に分布するとされているが、標本個体はオオウミウマ(前出)と同時に水深19mの貝殻混じりの砂泥底から採集された。本種は、筆者らの別の調査で横浜市沖から数個体が採集されている。

#### Triglidae ホウボウ科

##### *Lepidotrigla alata* イゴダカホデリ(図3-E)

Y C M-P 35268 (105.1mm SL), May. 11, 1995, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網(中の瀬), 採集者: 中村.

本種は強大な吻棘をもつことから容易に他種から区別できる。南日本の水深60~110mに分布するとされているが、東京湾からの確実な記録はないようである。

#### Carangidae アジ科

##### *Alectis ciliaris* イトヒキアジ(図4-A)

Y C M-P 35277 (162.9mm SL), Oct. 27, 1994, 金沢支所出荷場, 刺網(金沢湾沖木像根), 採集者: 工藤.

南日本の沿岸に分布し、相模湾では幼魚が三浦半島沿岸部で確認されているほか(林・伊藤, 1974; 工藤, 岡部, 1991), 成魚が定置網などで漁獲される(林・西山, 1980; 山田, 1990)。

標本は、刺網で同時に漁獲された2個体のうちの1個体で、小群で行動していたものと思われる。

#### Nemipteridae イトヨリダイ科

*Parascolopsis inermis* タマガシラ (図4-B)

Y C M-P 35278 (119.9mm SL), Jun. 15, 1994, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (中の瀬), 採集者: 中村.

相模湾周辺では, 西湘 (林・西山, 1980), 毘沙門 (山田, 1990) から記録があるが, 東京湾では稀.

Mullidae ヒメジ科

*Parupeneus barberinus* オオスジヒメジ

金沢区野島海岸の潜水調査によって, 1994年11月11日に全長約10cmの未成魚1個体が目視観察された。当該個体は, 石積み突堤と砂地の境の水深1mの海底上でクロサギの群れに混じって索餌していた。

本種は, 南日本のサンゴ礁域などに分布し, 神奈川県内では, 三浦半島西岸から記録がある (林, 1977; 工藤・岡部, 1991)。

Chaetodontidae チョウチョウウオ科

*Heniochus acuminatus* ハタタテダイ

1995年6月3日の八景島沖側の水深15m地点の潜水調査時に, 1個体が目視観察された。当該個体は全長が約10cmあり, 全長約30cmのイシダイの群れの中に混じって砂泥底近くに定位していた。出現時期と大きさから少なくとも1回は冬を越したものと考えられたが, 東京湾内で本種が越冬するとは考え難く, 外洋で越冬したものが湾内に侵入したとも考え難い。同時に観察されたイシダイも, この海域では通常この時期にはみられない大きさであり, これらが飼育下から逸出したものである可能性は否定できない。

相模湾では未成魚が時折現れるいわゆる死滅回遊魚で (林・伊藤, 1974; 工藤・岡部, 1991), 東京湾内湾部では横須賀市走水と千葉県姉ヶ崎で水中映像が撮影されているが, いずれも未成魚であった。

Pomacanthidae キンチャクダイ科

*Chaetodontoplus septentrionalis* キンチャクダイ

1994年10月15日に, 金沢湾岸の横須賀市夏島町の岸壁の潜水調査で, 水深5mの転石帯から全長約4cmの幼魚1個体を採集した (採集: 諏訪部)。採集された個体は現在飼育中で全長約10cmに成長しており, 成長に伴い体色変化が進行している。

Pentacerotidae カワビシャ科

*Evistias acutirostris* テングダイ (図4-C)

Y C M-P 35279 (240.0mm SL), May. 23, 1994, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (横浜港沖), 採集者: 中村.

南日本沿岸に分布し, 三浦半島周辺では稀に漁獲される (山田, 1990)。1994年は春夏季に黒潮系の暖水が東京湾へ波及し (海上保安庁水路部, 1994), それに伴って外洋性の魚類が多く出現した特異的な年だった。

Pomacentridae スズメダイ科

*Chromis notata notata* スズメダイ (図4-D)

1995年6月3日の横須賀市夏島町岸壁前の潜水調査において, 全長約10cmの成魚1個体が発見され, 水中写真に収められた (撮影: 工藤)。神奈川県沿岸に現れるスズメダイ科の多くはいわゆる死滅回遊魚であるが, 本種は最も温帯に適應しており, 東京湾湾口部の観音崎では本種の越冬が確認されている。この個体は大きさから判断して近隣海域で越冬したものと推定される。

Opistognathidae アゴアマダイ科

*Opistognathus iyonis* ニラミアマダイ

Y C M-P 35272 (59.8mm SL), Sep. 21, 1994, 金沢湾沖, 試験底びき網, 採集者: 清水 (図4-E); Y C M-P 35259 (24.4mm SL), Mar. 22, 1995, 金沢湾沖, 試験底びき網, 採集者: 清水.

東京湾内湾部から初記録で, 分布の北限記録となる。神奈川県沿岸では, 東京湾口の横須賀市久里浜沖からのみ知られている稀種である。

Mugilidae ボラ科

*Moolgarda perusii* ナンヨウボラ

1993年9月19日に金沢区野島町の野島水路で行われた投網調査で全長5cm以下の2個体が採集されたが (採集者: 工藤), 同定後の標本を紛失してしまった。

東京湾では東京都下の沿岸浅所で行われた小型地曳網調査で, 1986年から1990年にかけて複数回の記録がある (東京都環境保全局水質保全部, 1993)。

Labridae ベラ科

*Choerodon azurio* イラ (図5-A)

Y C M-P 35280 (161.0mm SL), Jul. 10, 1994, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (金沢湾沖), 採集者: 中村.

本種は, 東京湾では湾口部の岩礁域で時折漁獲されるが, 内湾部では少ない。

#### Chaenopsidae コケギンボ科

*Neoclinus bryope* コケギンボ (図5-B)

Y C M-P 35258 (46.9mm SL), Aug. 5, 1995, 金沢区野島海岸, スノーケリング, 採集者: 木村.

野島海岸の石積み突堤で採集された。標本個体は, 通常は石の間隙の奥に潜んでいたものと思われたが, 採集当日は水温が高く酸欠気味で, 他の多くの魚とともに水面近くに出てきていた。

本種は低潮線付近の磯に生息し, 東京湾では湾口部の岩礁域で普通にみられるが, 内湾部では少ない。

#### Callionymidae ネズツボ科

*Repomucenus huguenini* ヤリヌメリ (図5-C)

Y C M-P 35281 (140.6mm SL), Apr. 17, 1995, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (漁場不明), 採集者: 工藤.

相模湾では, 西湘 (林・西山, 1980), 江ノ島一大磯 (亀井, 1979), 三戸定置網 (山田・工藤, 1992) から記録がある。

#### Nomeidae エボシダイ科

*Psenes pellucidus* ハナビラウオ (図5-D)

Y C M-P 35282 (289.0mm SL), Jul. 10, 1993, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (中の瀬), 採集者: 中村.

銚路以南の各地に分布するとされている。

#### Pleuronectidae カレイ科

*Platichthys stellatus* スマガレイ (図5-E)

(319.0mm SL), Apr. 3, 1995, 柴支所出荷場, 小型機船底びき網 (漁場不明), 採集者: 中村.

本種は, 霞ヶ浦・福井県小浜以北の浅海域から淡水域に分布するとされているが, 三崎魚市場に水揚げされた記録がある (山田, 1990)。眼が体の左側にあることから, カレイ科の他種から容易に区別できる。

標本は測定後紛失した。

#### Molidae マンボウ科

*Mola mola* マンボウ (図5-F, 写真提供: 東京新聞横浜支局)

1994年の12月1日に全長約90cmの個体が横浜港沖で小型機船底びき網により漁獲され, 横須賀支所出荷場に水揚げされた。当該個体はその場で解体されてしまったため, 標本を得ることはできなかった。

外洋性の種であり, 東京湾内湾部に入り込むことは稀である。

#### 謝辞

現地調査において, 横浜市漁業協同組合, 横須賀市東部漁業協同組合の組合員並びに職員の方々, 海をつくる会の木村喜芳氏並びに諏訪部英俊氏の協力をいただいた。東京大学農学部水産学科の山口敦子氏, 東京新聞横浜支局の古庄英輔記者, 築地市場おさかな普及センター資料館の阿部宗明博士並びに山田和彦学芸員, 神奈川県生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士, 慶応大学経済学部生物学教室の岸 由二教授, 神奈川県農政部水産課の小川砂郎技師, 横須賀市自然博物館の林 公義学芸員からは資料の提供や有益な助言をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

#### 参考文献

- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義, 1977. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類 (II). 横須賀市博物館館報, (23): 27-32.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置で漁獲された相模湾産魚類目録・I. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 海上保安庁水路部, 1994. 海洋速報, 4pp.
- 亀井正法, 1979. 相模湾砂浜海域 (江ノ島～大磯) における魚類とその季節変化. 神奈川県水産試験場, 相模湾資源環境調査報告書Ⅱ: 167-186.
- 工藤孝浩, 1995. 横浜市金沢区野島海岸における魚類相変化. 神奈川自然保全研究会報告書, (13): 13-26.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸域の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
- 工藤孝浩・中村良成, 1994. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類. 神奈川自然誌資料, (15): 39-46.
- 御宿昭彦・瀬能 宏, 1994. 今月の魚, カガミダイ. I. O. P. Div. News, 5 (8): 1.

中坊徹次編, 1993. 日本産魚類検索. 1474pp. 東海大学出版会, 東京.

東京都環境保全局水質保全部, 1993. 平成3年度水生生物調査結果報告書. 環境保全局関係資料3-1-水93, 521pp.

山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げさ

れた魚類. 神奈川自然誌資料, (11):95-102.

山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅲ. 神奈川自然誌資料, (13):45-53.

(神奈川県水産総合研究所)

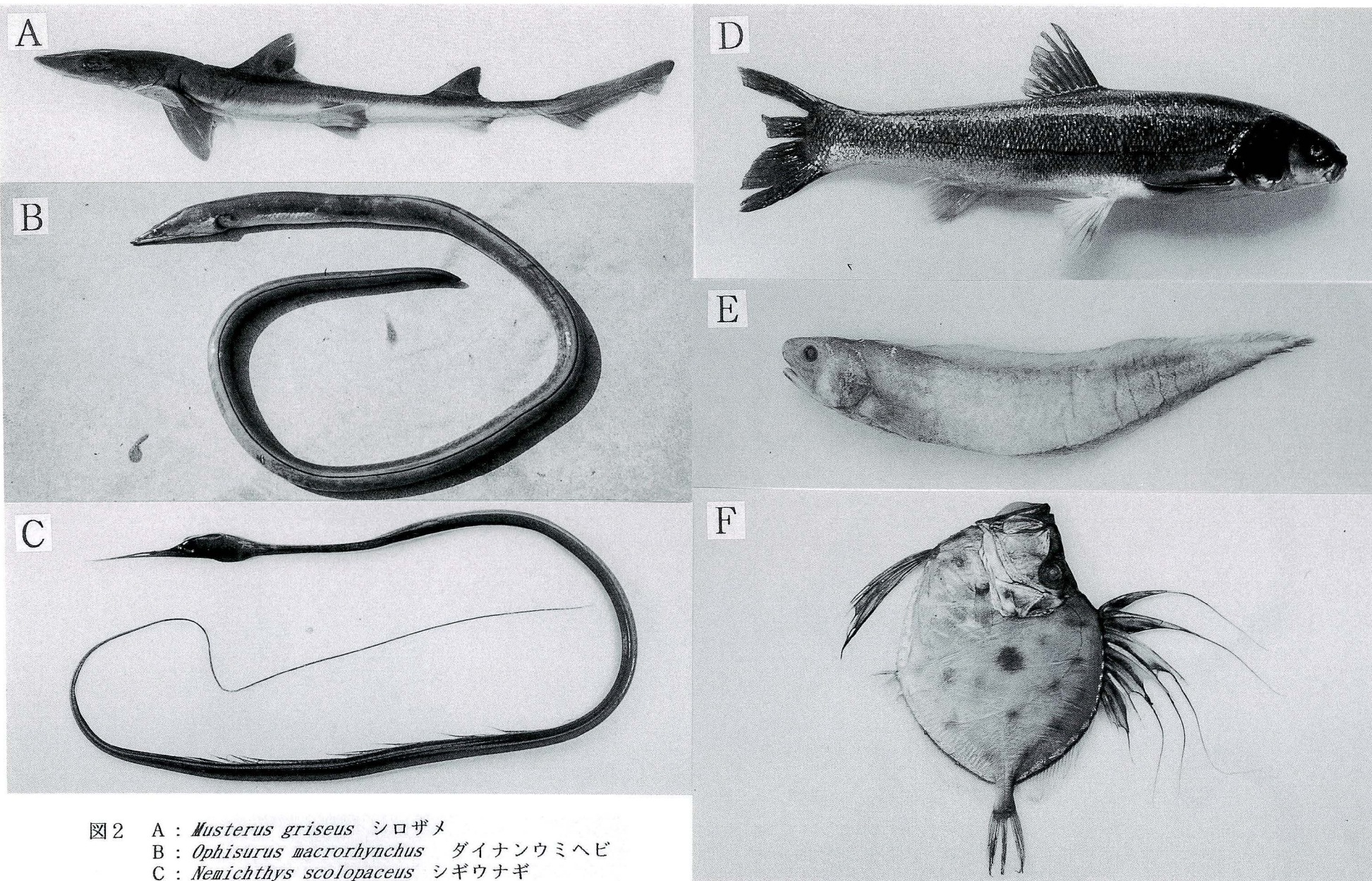


図2 A : *Mustelus griseus* シロザメ  
 B : *Ophisurus macrorhynchus* ダイナンウミヘビ  
 C : *Nemichthys scolopaceus* シギウナギ  
 D : *Tribolodon brandti* マルタ  
 E : *Neobythites sivicolus* シオイタチウオ  
 F : *Zenopsis nebulosa* カガミダイ

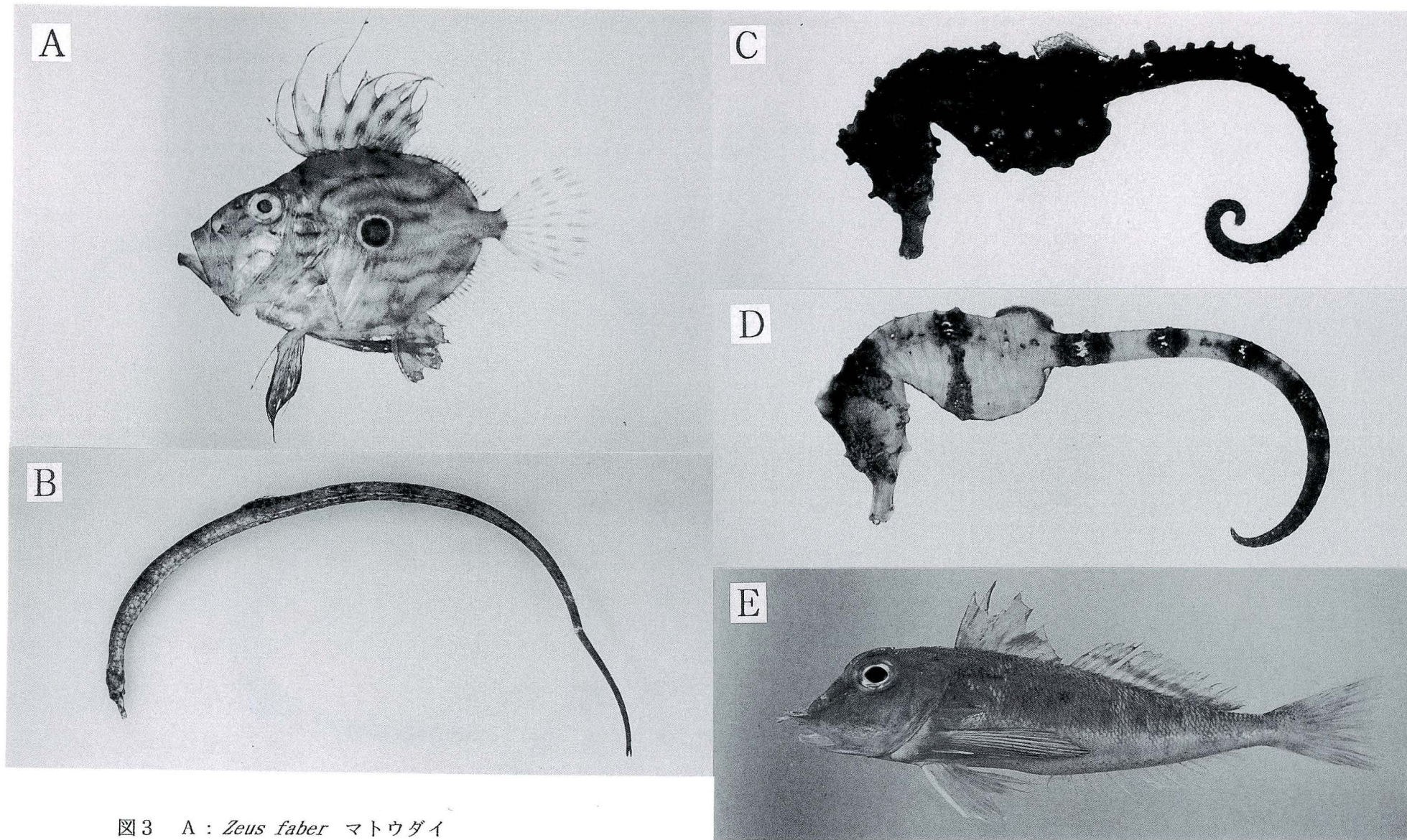


図3 A : *Zeus faber* マトウダイ  
 B : *Trachyrhamphus serratus* ヒフキヨウジ  
 C : *Hippocampus kuda* オオウミウマ  
 D : *Hippocampus japonicus* サンゴタツ  
 E : *Lepidotrigla alata* イゴダカホデリ

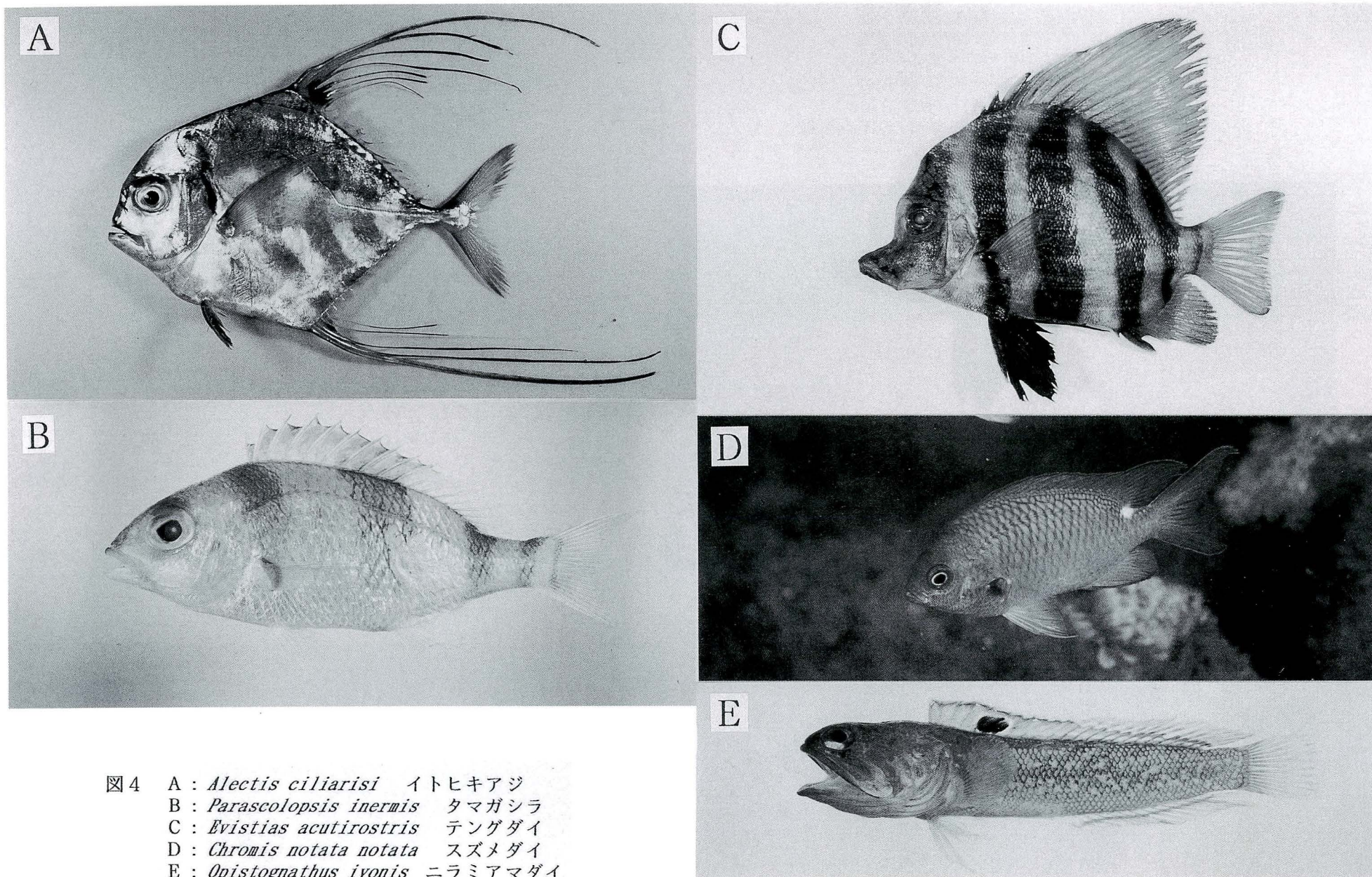


図4 A : *Alectis ciliaris* イトヒキアジ  
 B : *Parascolopsis inermis* タマガシラ  
 C : *Evistias acutirostris* テングダイ  
 D : *Chromis notata notata* スズメダイ  
 E : *Opistognathus iyonis* ニラミアマダイ

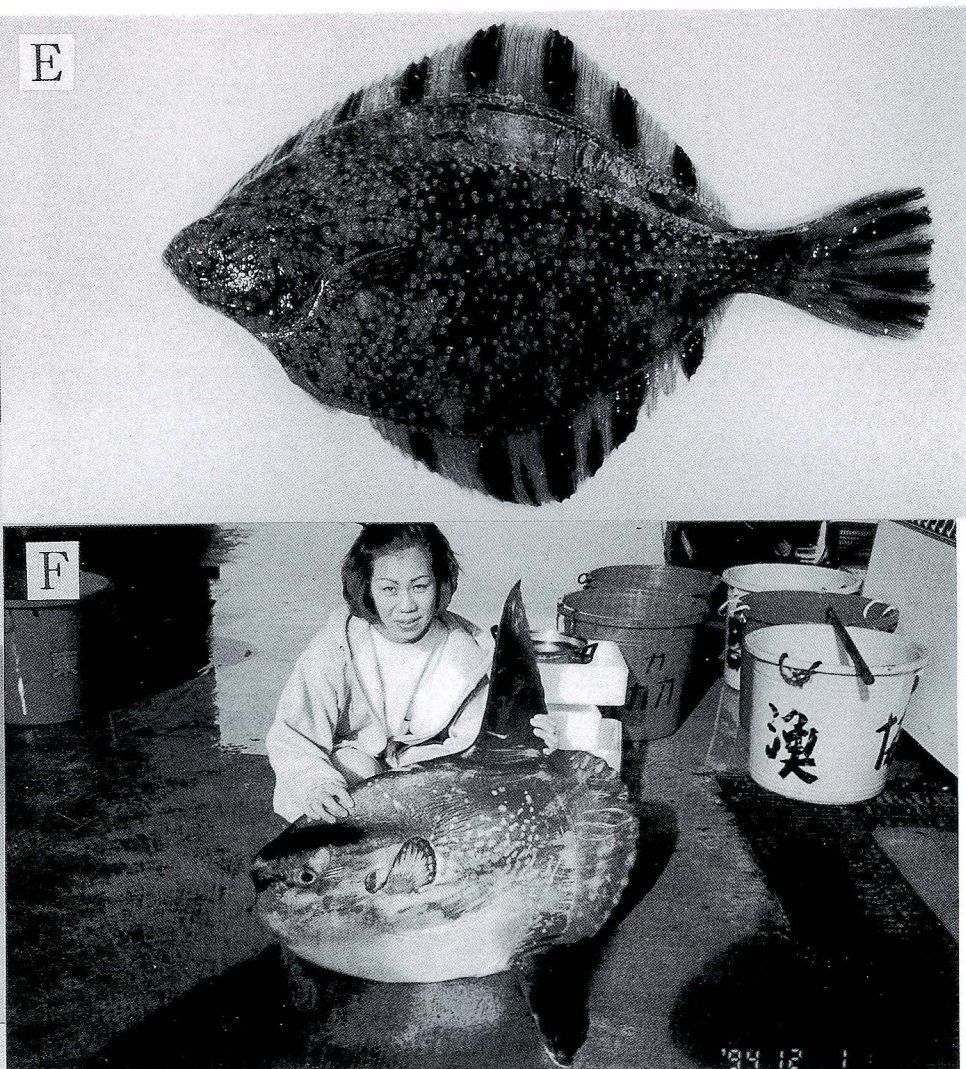
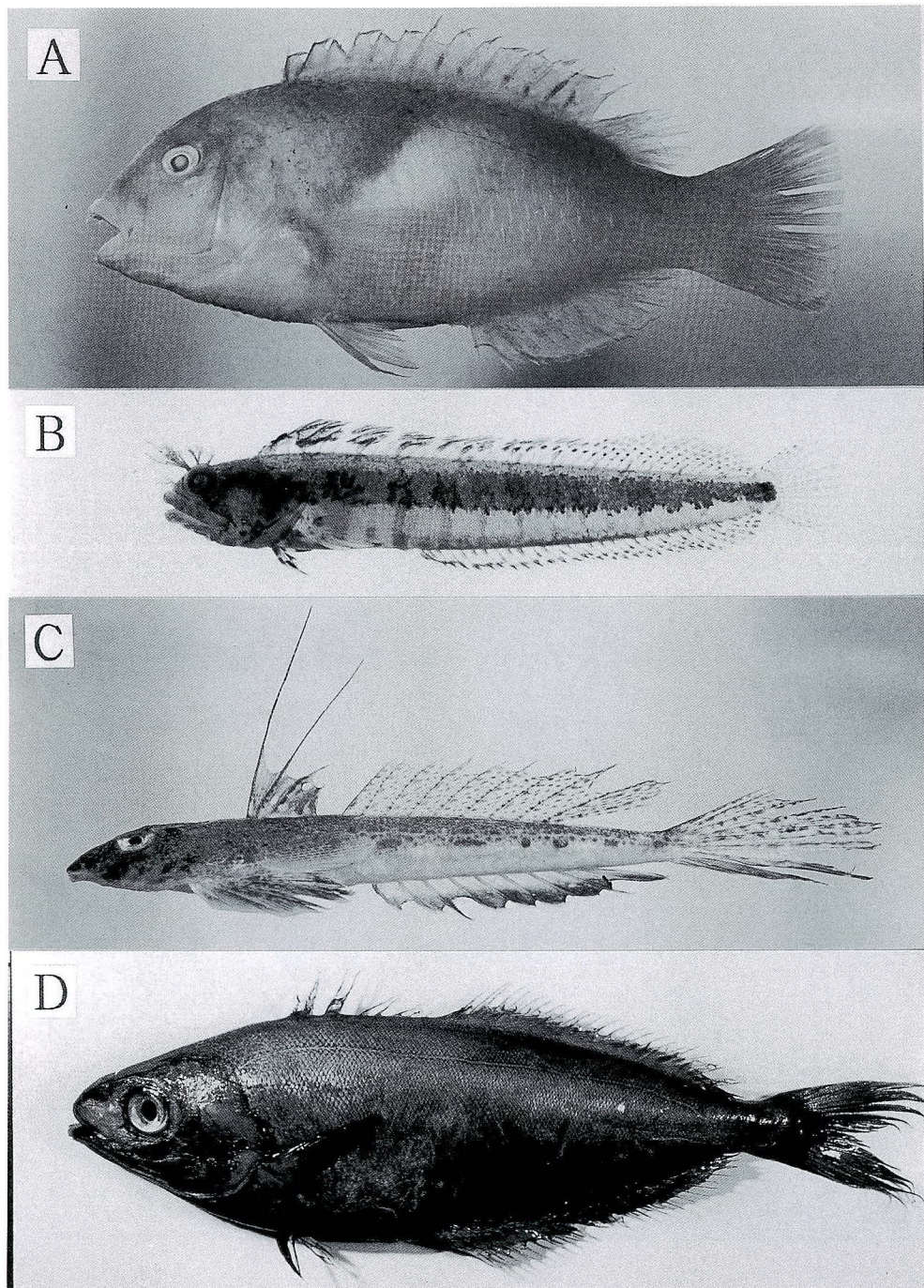


図5 A : *Choerodon azurio* イラ  
 B : *Neoclinus bryope* コケギンボ  
 C : *Repomucenus virgis* ヤリヌメリ  
 D : *Psenes pellucidus* ハナビラウオ  
 E : *Platichthys stellatus* ヌマガレイ  
 F : *Mola mola* マンボウ